

肌で感じたブラジルパワーの源！～ブラジル大使館訪問記～

投資においては、今や主役の1つとなりつつあるブラジルですが、もっと皆さんに身近に感じていただきたい、との思いから、弊社社員がブラジル大使館で色々とお話を伺ってきましたので、その一部をご紹介します。

●ブラジルは集合体!?

ブラジルは牛、豚、鳥の生産量が世界トップクラス。「皆さん肉料理は好きですか？」と聞くと、駐日ブラジル大使館の方は笑いながら、「そういうブラジルのイメージが日本の方々にはあるようですね。実際は地域によって様々なんですよ。」と。肉食中心なのは南部の話で、北部は魚介中心、内陸部は川魚やフルーツなどを好むとのこと。食事に限らず、文化や習慣なども地域によって大きく異なるそうです。もともと国土に対し人口が少なく、日本をはじめ世界中から移民を受け入れたため、ブラジルは人種のるつぼです。ブラジルは、様々な人種、生活、文化の集合体なんです。

●自動車・家電の人気ブランドは?

ブラジルの自動車販売台数は世界第4位（2011年）です。人気のブランドは、「フィアット」、「フォルクスワーゲン」、「GM」。では、家電の人気ブランドは?と聞くと、「GE」。「日本製は高品質」というイメージがあるものの、高価なので売れ筋には入っていない模様です。ブラジルでは、所得水準の向上により中間所得層がますます拡大しているため、今後は日本製も人気ブランドになるかもしれません。

●教育熱心なのはどの国も同じ!?

ブラジルの教育制度の特徴は、2部制です。小中学校は午前と午後、高校と大学は昼夜の2部制で、働きながら学校・大学に通うことはごく普通。大学進学率は「20%～25%」とまだ低位で、日本の昭和30年～40年代と同じくらいのイメージでしょうか?ブラジルの親の夢は、「子供を大学に行かせ、よい仕事につき、安泰な生活をさせること」。日本の昭和を思い出させるエピソードでした。

多人種・多民族のミックスカルチャーを成長のエネルギーに、日本の高度成長を彷彿とさせるブラジル。ブラジルのパワーをあらためて肌で感じた今回の訪問でした。



駐日ブラジル大使館にて
色彩豊かな壁画がお出迎えしてくれます
(写真撮影：弊社社員)



様々な人種が集まるブラジルの朝市
活気と喧騒に満ちた朝市から1日が始まります
(写真撮影：Afronaz Kauberdianuz)

* 個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、あくまで例示をもって理解を深めていただくためのものであり、当該個別銘柄の売買、ポートフォリオの構築、投資戦略の採用等を推奨あるいは勧誘するものではありません。

成長国について詳しくはこちらから www.gsam.co.jp

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を保証するものではありません。本資料は、信頼できるとされる資料に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された市場の見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合もあります。個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、あくまで例示をもって理解を深めていただくためのものであり、当該個別銘柄の売買、ポートフォリオの構築、投資戦略の採用等を推奨あるいは勧誘するものでもありません。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(Ⅰ)複写、写真複写、あるいはその他のいかなる手段において複製すること、あるいは(Ⅱ)再配布することを禁じます。<審査番号:87974.OTHER.MED.OTU>
© 2012 Goldman Sachs. All rights reserved.